

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	1166	(H.24)No.	1166
-----------	------	-----------	------

事務事業名		美術展覧会経費			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
教育委員会事務局		文化生涯学習室		杉本一徳	63-7892
新・継	事業期間			根拠法令等	
継続	昭和	33年度～	平成	年度	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本政策	3	市民文化の創造
	施策	1	市民文化
	小施策	1	文化芸術活動の振興
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分		事業コード	501504
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	教育費	文化振興費	
項	社会教育費	(小事業名)	
目	文化振興費	美術展覧会経費	

3. 事務事業の概要

事業概要	
『市展』として市民に永く親しまれてきた名張市美術展で、絵画・書道・写真・美術工芸の4部門の作品募集を行い、審査のうえ展覧会を開催しています。また、入賞者への表彰も行っています。	

めざす効果(事業目的)	
市民に、広く日ごろの創作活動の発表と鑑賞の機会を提供し、芸術文化への関心を高め、明るく楽しい文化生活を実現することを目的としています。	

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)		平成24年度 (計画・作成時予算額)		現在の実施手法(複数選択可)			
	[事業内容(事業量)・事業費]		[事業内容(事業量)・事業費]					
主な事業の実績・計画	需用費	66千円	旅費	0千円	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	平成27年度 (計画)	
	役務費	4千円	需用費	70千円				
	委託料	64千円	役務費	5千円	旅費	0千円	旅費	0千円
	使用料	105千円	委託料	61千円	需用費	70千円	需用費	70千円
	報償費	996千円	使用料	110千円	役務費	5千円	役務費	5千円
			報償費	999千円	委託料	61千円	委託料	61千円
					使用料	110千円	使用料	110千円
					報償費	999千円	報償費	999千円
直接事業費		1,235千円		1,245千円	1,245千円	1,245千円	1,245千円	
財源内訳 (千円)	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他(諸収入)	355	400	400	400	400		
一般財源	(0) 880	845	845	845	845			
人工数	職員	0.25人	0.35人	0.35人	0.35人	0.35人		
	臨時職員等	0.10人	0.10人	0.10人	0.10人	0.10人		
概算人件費	(0千円)	1,995千円	2,725千円	2,725千円	2,725千円	2,725千円		
+ 総事業費	(0千円)	3,230千円	3,970千円	3,970千円	3,970千円	3,970千円		

概算人件費は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の()内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	美術展覧会出展数	点	-	-	-	-
	実績			230	203	200	208
成果指標	目標	1年間に1回以上、文化・芸術を鑑賞したことのある市民の割合	%	-	-	-	-
	実績			49.6	54.2	51.5	50.7
	目標						
	実績						

6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
『市展』の開催については、出品者も入場者も関心を持ち、発表と鑑賞の機会は提供できている。今後は、出品数の増加を図ること、幅広い年代層の出品を促すことが課題である。	出品数は、極端な増減がない状況である。公民館活動が活発化している中で、創作活動を楽しむ市民も増えており、<市展への出展>を目標とする取り組みを続ける。期間中は毎年多数の入場があり、『市展』への関心は高いが、一層の入場者数の増に取り組む。

7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
開催会場の「老人福祉センターふれあい」は、現在の出品点数でも少し手狭な状況であり、出品点数の増分を受け入れるためには、上方空間の有効利用など展示方法を検討しなければならない。	創作意欲の向上、芸術文化への関心を高め、また鑑賞の機会を提供すること。

8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢 ・ の場合) (4)は の場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	年々、作品の質が向上してきており、情報発信の仕方に一工夫行う。
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できる	文化振興を目的とした小事業が多く設定され、“小事業の縦割り”によるデメリットが大きいため文化振興事業に統合することで解消が可能。
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	県内市町の展覧会出品料は、0円～1,000円である。近隣市町と比較して適性と判断するが、新たな財源として年度ごとに創設される国県等の補助制度等を活用していきたい。
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ない	
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映予定なし(該当しない)	
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	会場の再検討と他事業との同時開催の検討。

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む)
継続(事務改善)
「継続(現行)」の場合のみ理由を記載

特記事項